

スタート

じょうもん ど き
縄文土器

(^①) 時代に使われていた土器で、
多くに (^②) 模様がつけられていま
した。狩りや漁、採集で得た食料は、土器
を使って調理しました。

ひ み こ
卑弥呼

3世紀ごろ、(^③) の女王とな
り、争いをしずめました。
まじないをする力もあり、30ほどのくにを
従えていたと考えられています。

しょうとくたいし
聖徳太子

(^④) の憲法や冠位十二階な
ど、国のしくみを整えました。
(^⑤) らを遣隋使として隋に送
り、仏教を学びました。

とうだいじ だいぶつ
東大寺の大仏

奈良時代、(^⑥) 天皇は、仏教の力
で国を守ろうと考えました。
奈良の都の東大寺に大仏を、全国に
(^⑦) を建てました。

むらさきしきぶ
紫式部

平安時代に、貴族社会を描いた
『(^⑧) 』を著しました。
同じころ、(^⑨) が『枕草
子』を書きました。

おだのぶなが
織田信長

武力で天下統一を目指し、琵琶湖のほとり
に (^⑩) 城を建てました。
城下町では、商人たちがだれでも自由に営
業することを認めるなど、新しい考え方を
取り入れた政治を行いました。

ザビエル

スペインの宣教師で、日本を訪れ
(^⑪) を伝えました。

せっしゅう
雪舟

中国に留学し、(^⑫) の名作を残し
ました。(^⑬) は、ふすま絵や、床の間を
かざるかけ軸に好んで使われました。

ぎんかく
銀閣

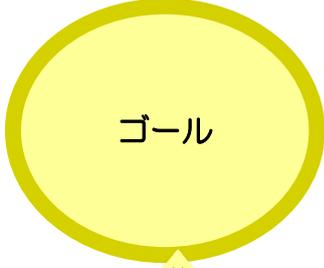
(^⑭) が、京都の東山に建てま
した。このころ、たたみや障子、ふすまな
どを使った日本独自の建築様式である、
(^⑮) が広がりました。

あしかがよしみつ
足利義満

(^⑯) 幕府の3代将軍として、強い
権力を持ちました。中国や朝鮮と貿易を
行い、京都の北山に (^⑰) を建てま
した。

たいらのきよもり
平清盛

平安時代の終わりごろ、(^⑱) が政治
でも力をもつようになりました。清盛は
(^⑲) で初めて太政大臣になりました
が、のちに平氏は (^⑳) に敗
れ、ほろびました。



ゴール

太陽の塔

岡本太郎が、(36) 万博のシンボルとして制作しました。
この万博は「人類の進歩と調和」をテーマに開催され、77 国が参加しました。

東京タワー

戦後、(34) とテレビの電波塔として建てられました。このころ、高度(35) 成長によって、家庭にテレビや洗濯機、冷蔵庫などが普及しました。

富岡製糸場

フランスの技術を取り入れ、大量の(32) を生産しました。
政府は、外国から機械を買ったり、外国人を招いて技術や知識を教わったりして、(33) をすすめました。

伊藤博文

初代の(31) に任命されました。ドイツなど西洋の国々を参考にして、近代国家のかたちを整えました。

板垣退助

(30) 運動を進め、自由党を設立しました。
各地で演説会が開かれるなど、全国で運動が盛り上がりましたが、政府はこれを厳しく取り締まりました。

豊臣秀吉

信長の死後、(19) 城を築いて拠点とし、天下統一を推進しました。
ものさしの長さやますの大きさを統一して(20) を行ったり、刀狩令を出しました。

徳川家康

(21) の戦いで対立する豊臣方を破り、全国の大名を従えました。
(22) 幕府を開いて、全国支配を確立しました。

浮世絵

歌川広重の浮世絵は、ヨーロッパでも高く評価されました。
ほかに、(23) の『富嶽三十六景』や、(24) の人気役者を描いた浮世絵が流行しました。

伊能忠敬の地図

伊能忠敬は、全国を測量して、正確な(25) を作りました。忠敬が歩いた距離は、17 年間で3万 5000kmにわたったといわれています。

明治天皇

明治になると、江戸は(26) と改められ、新政府による政治が始まりました。
のちに制定された(27) 憲法では、主権は天皇にあるとされました。

福沢諭吉

『(28) 』を著し、人々に影響を与えました。
このころ人々の生活や考え方が大きく変わった風潮を(29) といいます。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱